

第7章 大阪の国際化

近畿圏の貿易は、地域別では輸出入ともにアジアの割合が高く、北米の割合が低いこと、品目別では、輸出は輸送用機器の割合が低く、電気機器の割合が高いことが特徴です。

第7章では、大阪の国際化の現状を把握するために、貿易や外国企業数、国際会議の開催件数等について取り上げます。

教えて！Q&A

Q

近畿圏の輸出入は、増えているの？減っているの？

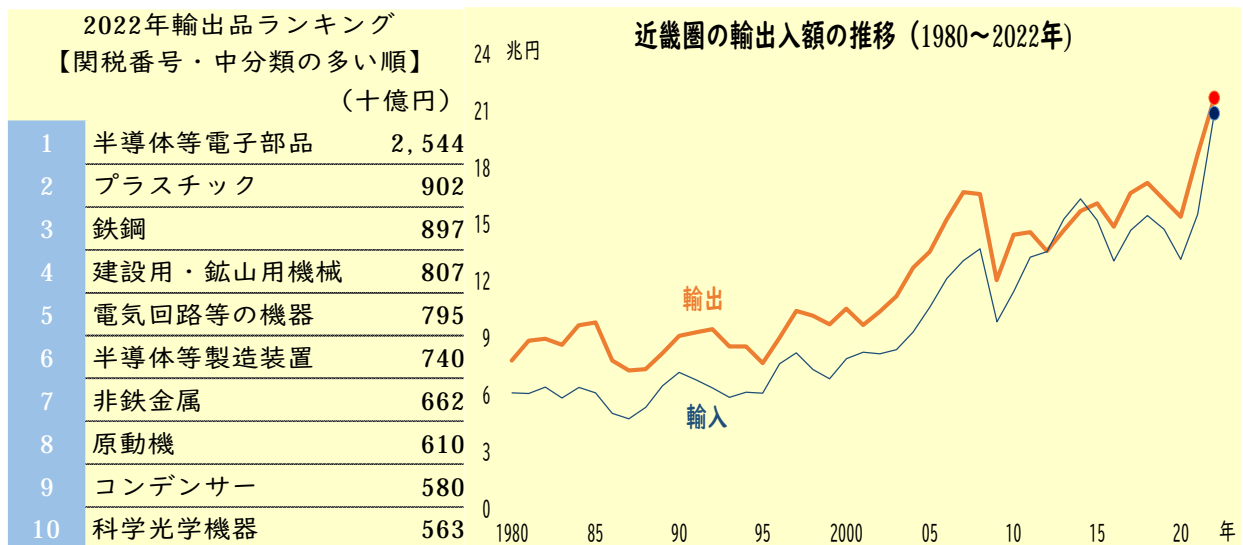
増減しているのは、何が原因なの？

A

2022年の近畿圏の輸出額は21兆6,265億円、輸入額は20兆8,087億円で、それぞれ全国の22.0%、17.6%を占めています（7-1参照）。主な輸出品としては、半導体等電子部品やコンデンサー、電気回路等の電子、電気部品、機器、建設、鉱山用の機械、鉄鋼、非鉄金属といった素材などがあげられます。

輸出額の推移をみると、中国への輸出増加などにより1990年代後半から増加が顕著になりました。リーマンショックが発生した2008年、翌2009年と減少したものの、2010年以降は回復傾向にあります。足下では、米中貿易摩擦や新型コロナによって一時的に減少しましたが、2022年は増加しました。ただ、全国よりも増加率が小さく、輸出額の全国シェアは前年に比べ、わずかに低下しました（7-1参照）。

近畿圏の輸出額が概ね輸入額を上回っており、貿易収支は黒字基調です。



資料：大阪税関「貿易統計」（グラフ、表とも）

7-1 全国・近畿圏の輸出入通関額の推移

特徴

- ・ 近畿圏の輸出額は2022年に21兆6,265億円で2年連続の増加でした。
- ・ 近畿圏の輸出額の全国シェアは2022年に22.0%で、0.4ポイント低下しました。

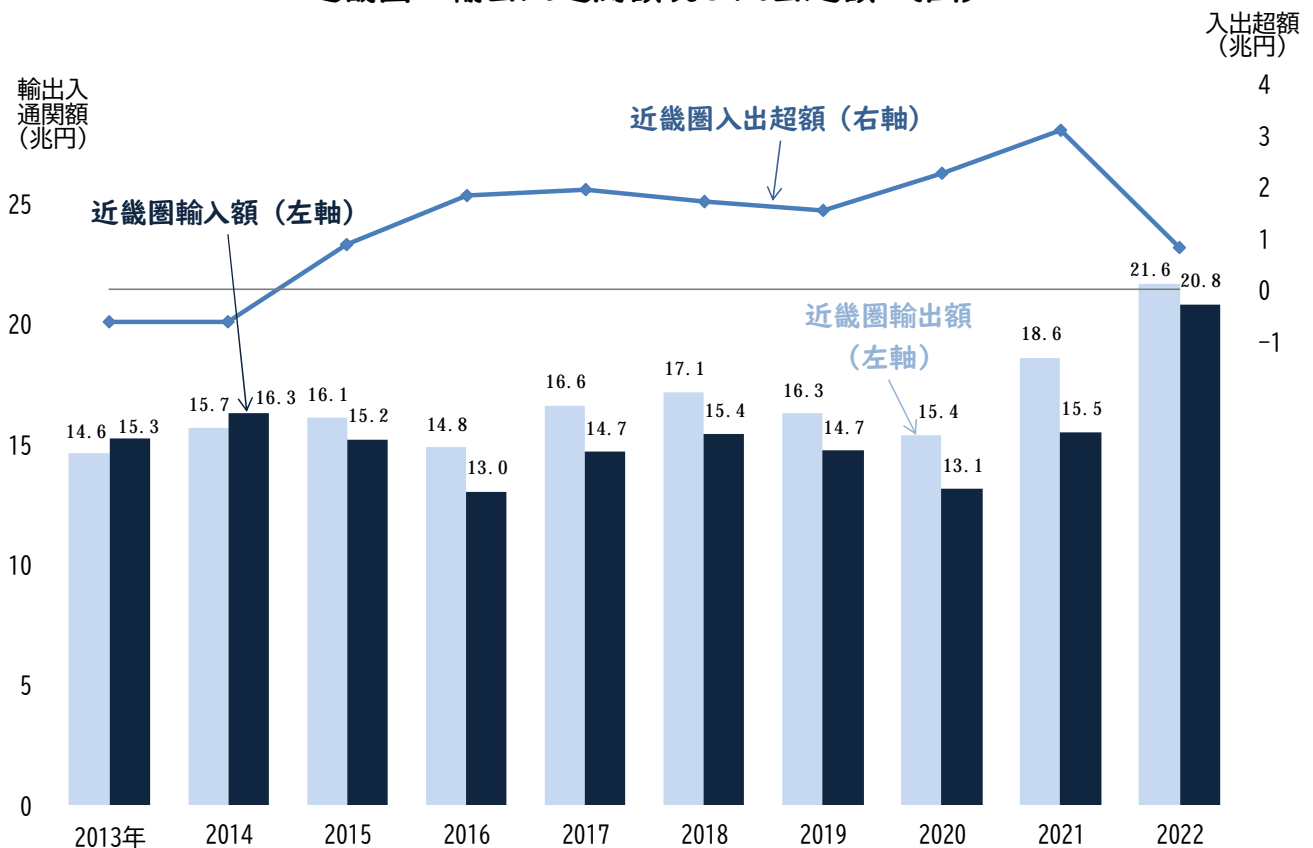
(単位：億円、%)

	近畿圏			全国		近畿圏			全国		近畿圏	
	輸出額	前年比	シェア	輸出額	前年比	輸入額	前年比	シェア	輸入額	前年比	入出超額	前年比
2013年	146,374	7.8	21.0	697,742	9.5	152,542	12.7	18.8	812,425	14.9	-6,167	-
2014	156,657	7.0	21.4	730,930	4.8	163,078	6.9	19.0	859,091	5.7	-6,421	4.1
2015	160,697	2.6	21.3	756,139	3.4	151,881	-6.9	19.4	784,055	-8.7	8,817	-
2016	148,498	-7.6	21.2	700,358	-7.4	130,311	-14.2	19.7	660,420	-15.8	18,187	106.3
2017	166,092	11.8	21.2	782,865	11.8	146,597	12.5	19.4	753,792	14.1	19,495	7.2
2018	171,476	3.2	21.0	814,788	4.1	154,349	5.3	18.7	827,033	9.7	17,127	-12.1
2019	162,647	-5.1	21.1	769,317	-5.6	147,190	-4.6	18.7	785,995	-5.0	15,457	-9.8
2020	153,702	-5.5	22.5	683,991	-11.1	131,273	-10.8	19.3	680,108	-13.5	22,428	45.1
2021	186,002	21.0	22.4	830,914	21.5	155,080	18.1	18.3	848,750	24.8	30,922	37.9
2022	216,265	16.3	22.0	981,750	18.2	208,087	34.2	17.6	1,181,410	39.2	8,178	-73.6

(財務省「貿易統計」、大阪税関「貿易統計」)

- (注) 1. 近畿圏は、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県の2府4県。
2. 2022年は確々報値、2021年以前は確定値。

近畿圏の輸出入通関額及び入出超額の推移



7-2 全国・主要税関の輸出入相手地域別通関額【2022年】

特徴

- ・ 近畿圏の輸出入の地域別構成比を国内他地域と比較すると、輸出入ともにアジアの割合が高く、北米の割合が低いことが特徴です。

輸出通関額(2022年)

(単位：百万円)

	近畿圏	東京税関	横浜税関	名古屋税関	全 国
アジア	13,917,934	15,197,888	7,204,725	8,576,060	55,407,605
中国	5,247,730	4,524,125	2,433,768	3,360,174	19,003,792
台湾	2,166,391	2,196,939	715,460	717,188	6,857,432
韓国	1,367,463	1,778,923	905,181	618,688	7,106,165
香港	1,075,680	2,320,821	241,043	283,595	4,357,352
タイ	857,205	915,764	576,019	1,146,359	4,269,333
(アジアNIEs)	5,278,534	7,521,718	2,243,318	1,839,011	21,255,878
(ASEAN)	3,551,228	3,876,549	2,379,177	2,982,211	15,545,222
大洋州 (オセアニア)	350,037	107,710	801,523	853,748	2,815,725
北 米	3,461,742	4,637,741	2,934,226	5,880,984	19,387,020
アメリカ合衆国	3,326,206	4,483,521	2,801,562	5,434,737	18,255,041
中南米	495,397	248,713	767,018	1,191,758	3,736,880
西 欧	2,314,004	3,086,347	1,174,258	2,946,615	10,740,749
中東欧・ロシア等	504,801	231,623	206,748	728,622	2,033,648
(EU)	2,268,471	2,452,839	851,706	2,733,694	9,358,561
中 東	386,538	341,789	399,314	1,213,778	2,781,507
アフリカ	196,078	54,114	282,775	266,135	1,271,847
総 額	21,626,531	23,905,925	13,770,586	21,657,700	98,174,981

輸入通関額(2022年)

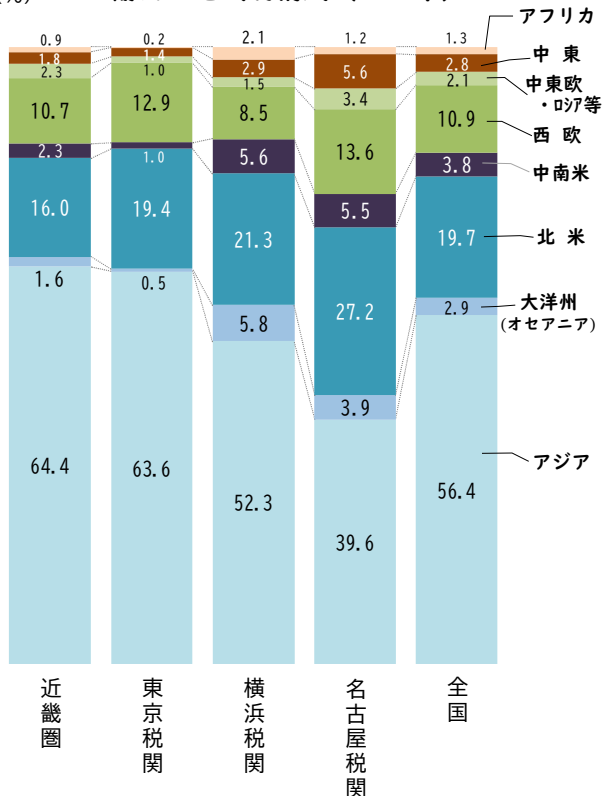
(単位：百万円)

	近畿圏	東京税関	横浜税関	名古屋税関	全 国
アジア	11,443,411	21,078,254	6,193,533	6,827,222	53,367,040
中国	6,129,845	10,910,035	2,380,812	2,896,938	24,843,385
台湾	990,093	2,784,800	224,393	407,715	5,097,157
韓国	861,410	1,410,203	676,346	481,789	4,416,331
香港	41,752	66,301	4,946	5,269	134,282
タイ	692,807	1,202,155	524,664	687,539	3,502,365
(アジアNIEs)	2,115,503	5,001,481	1,012,571	996,135	10,940,099
(ASEAN)	3,154,343	5,474,475	2,742,420	2,873,565	17,701,254
大洋州 (オセアニア)	1,833,757	558,915	4,472,516	1,303,681	12,680,721
北 米	1,990,512	5,601,382	2,806,581	1,363,709	13,912,837
アメリカ合衆国	1,710,194	5,183,364	2,223,487	1,150,676	11,733,103
中南米	679,307	938,177	1,210,339	378,799	4,830,128
西 欧	2,782,090	7,096,288	1,367,113	1,224,762	12,959,993
中東欧・ロシア等	317,729	696,066	678,446	405,102	2,984,492
(EU)	2,387,488	6,030,242	1,279,654	1,253,182	11,391,679
中 東	1,600,097	277,699	6,315,838	2,130,817	15,423,360
アフリカ	161,787	1,044,726	293,148	244,117	1,981,978
総 額	20,808,715	37,291,507	23,337,531	13,878,529	118,140,966

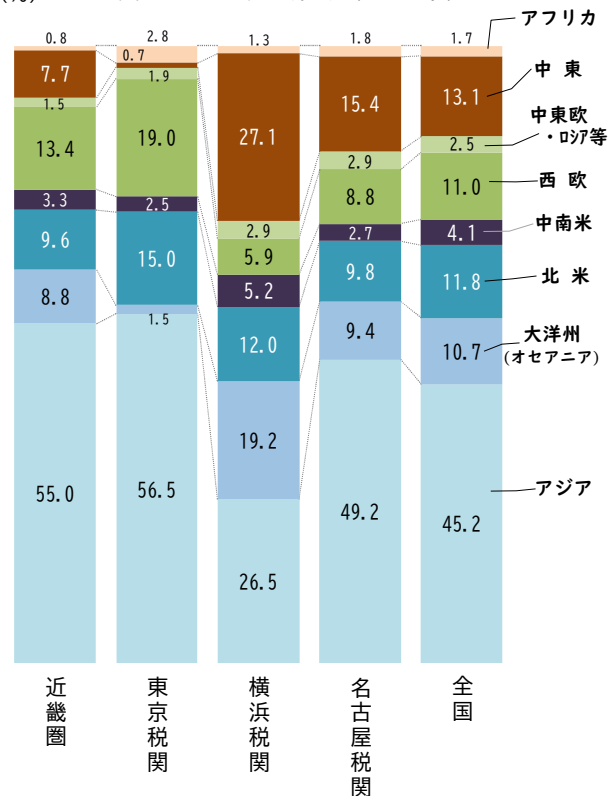
(財務省「貿易統計」、各税関「貿易統計」)

- (注) 1. アジアについては、近畿圏で輸出の多い上位5カ国・地域を掲載。
 2. シンガポールは、アジアNIEs、ASEAN双方に含まれる。
 3. 近畿圏は、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県の2府4県。
 4. 輸入通関額の地域別の合計額と総額は、輸出の戻りや不明地域等があるため一致しない。

(%) 輸出の地域別構成 (2022年)



(%) 輸入の地域別構成 (2022年)



7-3 全国・近畿圏の輸出入品目別の通関額【2022年】

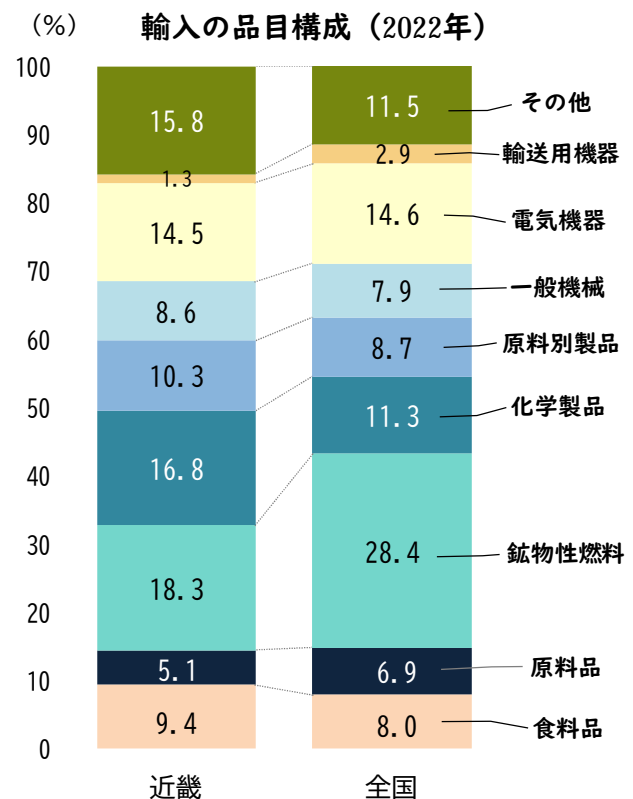
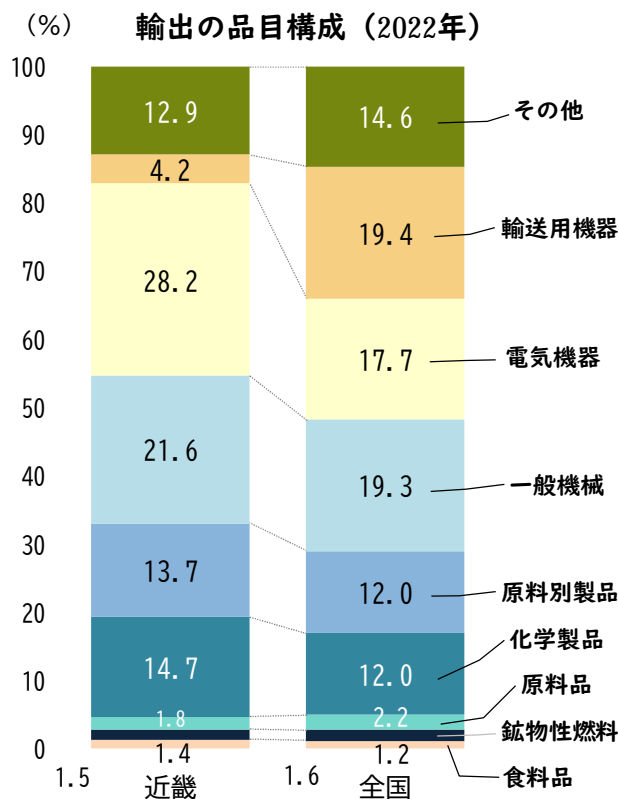
特徴

- ・ 近畿圏の輸出は、全国と比べて「輸送用機器」の割合が低く、「電気機器」等の割合が高いのが特徴です。
- ・ 近畿圏の輸入は、全国と比べて「化学製品」の割合が高く、「輸送用機器」等の割合が低いのが特徴です。

	近畿圏			全国		
	金額	構成比	シェア	金額	構成比	シェア
食料品	308,799	1.4	27.2	1,136,601	1.2	20.5
原料品	334,716	1.5	21.1	1,582,869	1.6	13.1
鉱物性燃料	380,589	1.8	17.3	2,196,835	2.2	11.3
化学製品	3,184,132	14.7	27.0	11,793,752	12.0	10.0
プラスチック	902,067	4.2	28.6	3,154,507	3.2	26.2
原料別製品	2,953,869	13.7	25.0	11,818,079	12.0	27.4
鉄鋼	896,807	4.1	18.9	4,738,612	4.8	20.8
一般機械	4,661,136	21.6	24.6	18,909,593	19.3	19.3
電気機器	6,108,570	28.2	35.2	17,337,041	17.7	17.5
半導体等電子部品	2,543,530	11.8	44.8	5,676,083	5.8	8.2
輸送用機器	912,569	4.2	4.8	19,057,822	19.4	24.3
その他	2,782,153	12.9	19.4	14,342,390	14.6	11.5
総額	21,626,531	100.0	22.0	98,174,981	100.0	17.6

(財務省「貿易統計」、大阪税関「貿易統計」)

(注)近畿圏は、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県の2府4県。



7-4 近畿圏の輸出入の主要相手地域別品目別の通関額【2022年】

特徴

- ・近畿圏の輸出は、他の地域向けと比べて、アジア向けでは「電気機器」、アメリカ向けでは「一般機械」が多いのが特徴です。
- ・近畿圏の輸入は、他の地域向けと比べて、欧米からは「化学製品」、アジアでは「電気機器」「その他」が多いのが特徴です。

輸出通関額(2022年)

(単位:百万円、%)

	中国	アジア N I E S	ASEAN	アメリカ 合衆国	E U
食料品	73,652	108,589	38,805	52,775	18,658
原料品	109,838	59,105	63,516	42,393	22,905
鉱物性燃料	36,676	94,814	99,234	19,061	18,856
化学製品	930,746	734,095	343,168	606,659	405,351
プラスチック	360,104	224,258	109,652	72,097	70,439
原料別製品	692,040	494,737	778,205	329,882	217,708
鉄鋼	146,443	162,249	242,967	117,141	44,177
一般機械	940,309	795,962	646,058	1,088,281	498,696
電気機器	1,818,521	2,149,255	901,430	679,617	504,858
半導体等電子部品	871,712	1,144,824	420,660	85,496	103,143
輸送用機器	36,017	65,579	242,318	117,031	169,194
その他	609,930	776,398	438,493	390,509	412,246
総額	5,247,730	5,278,534	3,551,228	3,326,206	2,268,471

輸入通関額(2022年)

(単位:百万円、%)

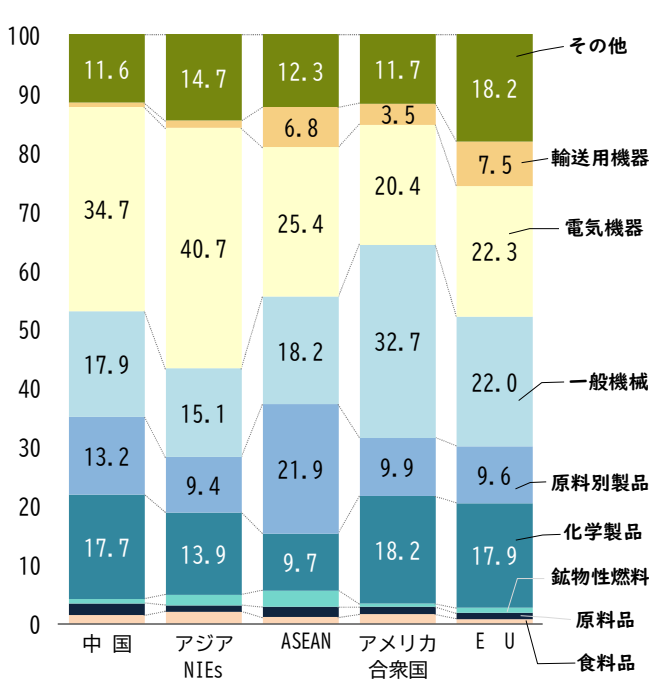
	中国	アジア N I E S	ASEAN	アメリカ 合衆国	E U
食料品	253,686	67,294	291,573	291,260	367,379
原料品	60,562	39,059	157,228	98,519	140,530
鉱物性燃料	11,542	133,343	362,502	238,331	21,270
原油及び粗油	—	—	—	39,123	—
化学製品	636,716	400,089	316,240	543,073	1,141,262
医薬品	43,033	107,966	57,948	269,089	855,528
原料別製品	839,699	342,048	381,062	80,070	162,402
一般機械	878,220	246,894	237,526	207,968	188,300
電気機器	1,613,984	511,346	613,536	109,576	125,942
輸送用機器	100,918	21,578	49,230	21,220	74,057
その他	1,734,518	353,851	745,446	120,177	166,346
衣類及び同付属品	705,352	3,918	365,053	1,465	22,564
総額	6,129,845	2,115,503	3,154,343	1,710,194	2,387,488

(大阪税関「2022年貿易統計」)

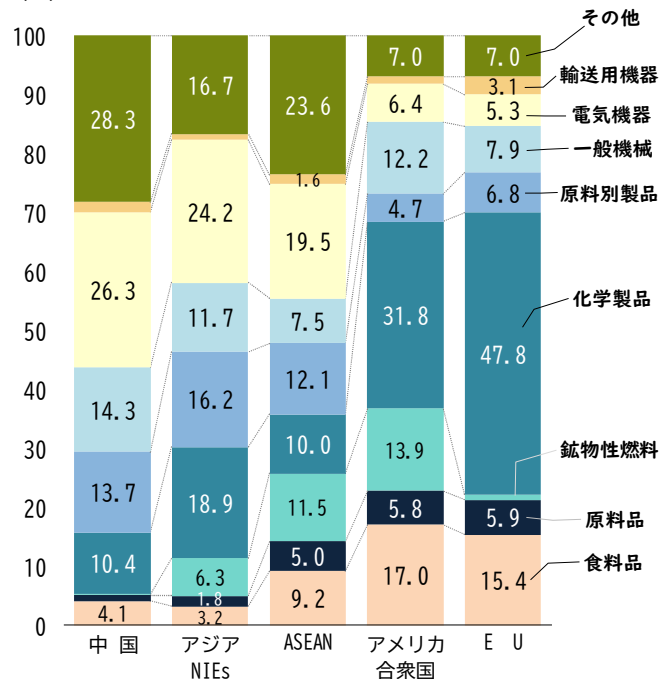
(注)確々報値。近畿圏は、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県の2府4県。

シンガポールは、アジアNIEs、ASEAN双方に含まれる。

(%) 輸出の主要地域別品目構成 (2022年)



(%) 輸入の主要地域別品目構成 (2022年)



7-5 全国・主要都府県の外国企業数の推移

特徴

- ・ 大阪府に立地する外国企業数は2023年には123社で、全国シェアは3.9%です。
- ・ 欧州系企業が49社と最も多く、アジア系企業が46社と続きます。

(単位：社、%)

	2019年		2020		2021		2022		2023	
	社数	シェア	社数	シェア	社数	シェア	社数	シェア	社数	シェア
大阪府	129	4.0	122	3.8	125	3.9	126	4.0	123	3.9
東京都	2,428	75.3	2,428	76.5	2,408	75.9	2,391	75.3	2,374	75.3
神奈川県	302	9.4	299	9.4	305	9.6	318	10.0	314	10.0
愛知県	49	1.5	49	1.5	48	1.5	49	1.5	50	1.6
埼玉県	40	1.2	38	1.2	36	1.1	36	1.1	37	1.2
千葉県	44	1.4	43	1.4	45	1.4	48	1.5	48	1.5
兵庫県	86	2.7	86	2.7	87	2.7	88	2.8	88	2.8
その他	146	4.5	107	3.4	120	3.8	118	3.7	118	3.7
全国	3,224	100.0	3,172	100.0	3,174	100.0	3,174	100.0	3,152	100.0

(東洋経済新報社『外資系企業総覧』)

- (注) 1. 企業数は収録数、表中の各年は『外資系企業総覧』の発行年を記載。調査時点は、各年3月であるが、各年の発売時点までの変更が反映されている場合がある。
2. 四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

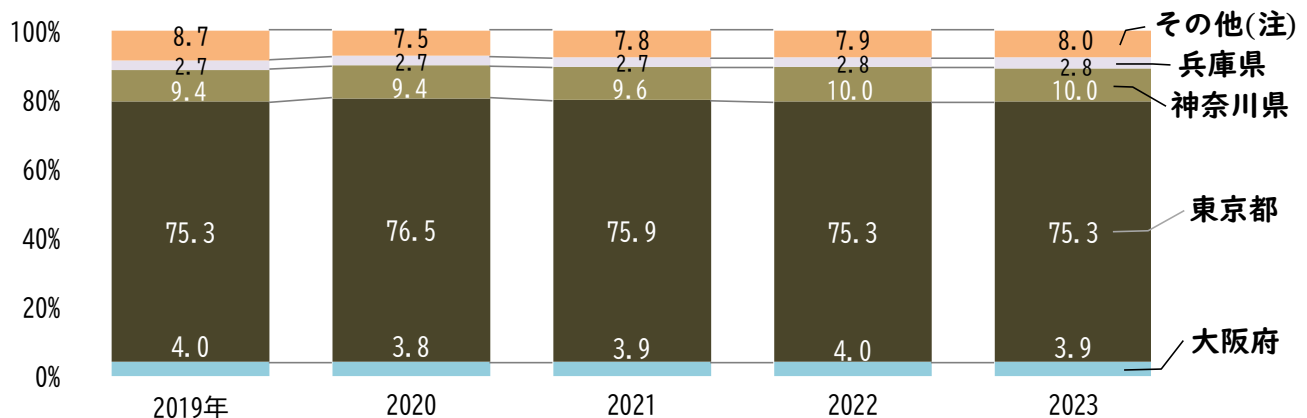
親企業の地域と業種（大阪府）

(単位：社)

地域	2019年	2020	2021	2022	2023	業種		
						製造	卸・小売	サービス・その他
アジア	48	47	50	49	46	9	21	16
うち中国	15	16	15	15	14	1	8	5
韓国	14	11	12	11	11	0	8	3
北米	25	20	20	26	25	9	13	3
欧州	52	51	51	47	49	11	34	4
その他	4	4	4	4	3	0	3	0
合計	129	122	125	126	123	29	71	23

(注) 表中の「その他」の地域には、親企業の所在が未記入の企業が含まれる。

外国企業数都府県別構成比の推移



(注) 上図の「その他」には、千葉県、埼玉県、愛知県の割合も含まれている。

7-6 国内主要空港別国際線航空貨物取扱量の推移

特徴

- ・ 関西国際空港の国際航空貨物取扱量は、2017年から3年連続で減少した後、2021年は4年ぶりに増加に転じましたが、2022年は再び減少しました。ただし、東京国際空港などに比べて減少率が緩やかだったため、2022年の取扱量の全国シェアは21.4%と上昇しました。

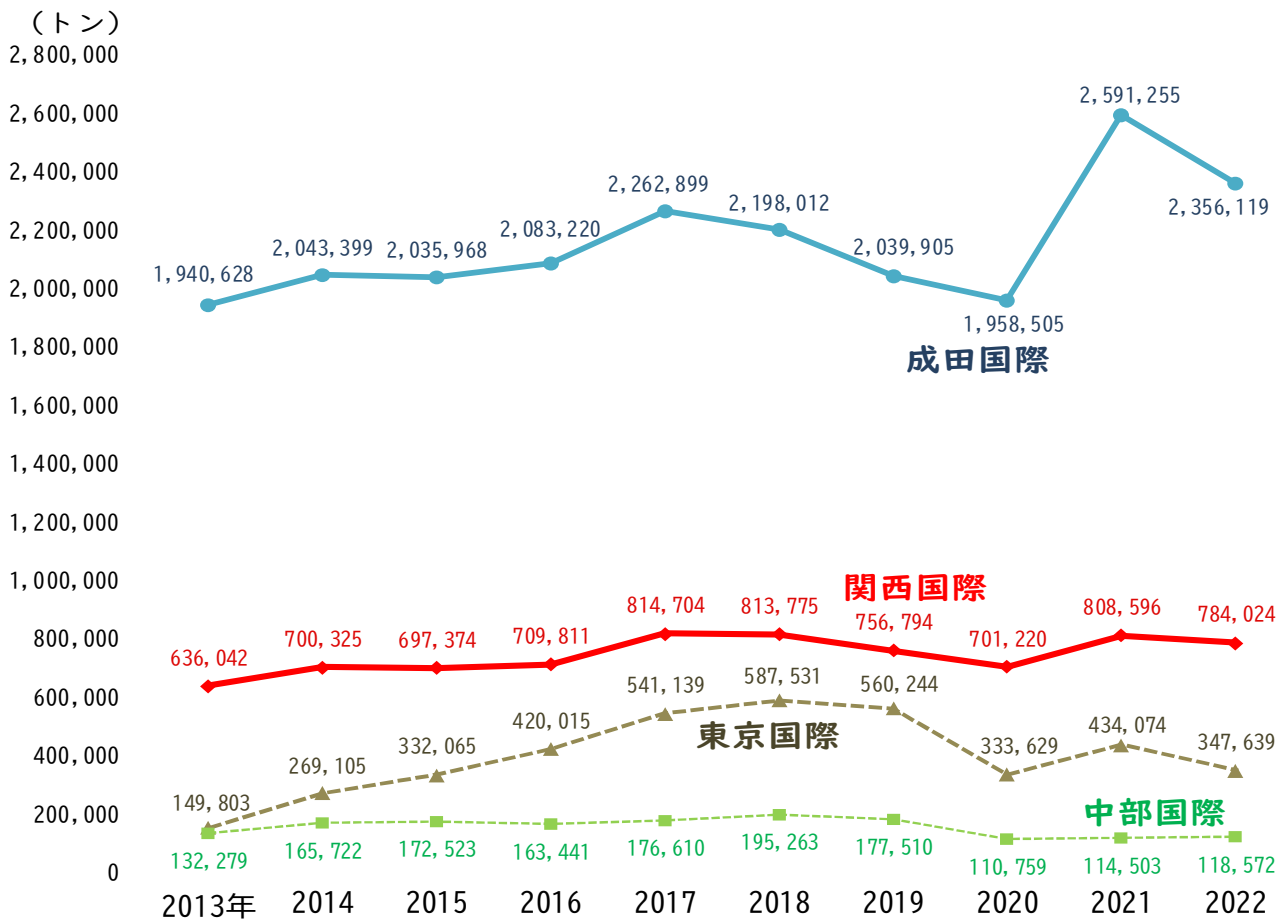
(単位：トン、%)

	関西国際		成田国際		東京国際		中部国際		その他		全空港計	
	取扱量	シェア	取扱量	シェア	取扱量	シェア	取扱量	シェア	取扱量	シェア	取扱量	シェア
2013年	636,042	20.6	1,940,628	62.9	149,803	4.9	132,279	4.3	225,625	7.3	3,084,377	100.0
2014	700,325	20.3	2,043,399	59.3	269,105	7.8	165,722	4.8	265,299	7.7	3,443,850	100.0
2015	697,374	19.9	2,035,968	58.2	332,065	9.5	172,523	4.9	259,473	7.4	3,497,403	100.0
2016	709,811	19.4	2,083,220	57.0	420,015	11.5	163,441	4.5	276,613	7.6	3,653,100	100.0
2017	814,704	19.9	2,262,899	55.3	541,139	13.2	176,610	4.3	296,718	7.3	4,092,070	100.0
2018	813,775	20.2	2,198,012	54.4	587,531	14.5	195,263	4.8	243,672	6.0	4,038,253	100.0
2019	756,794	20.3	2,039,905	54.7	560,244	15.0	177,510	4.8	193,324	5.2	3,727,777	100.0
2020	701,220	22.1	1,958,505	61.7	333,629	10.5	110,759	3.5	69,280	2.2	3,173,393	100.0
2021	808,596	20.1	2,591,255	64.5	434,074	10.8	114,503	2.9	68,839	1.7	4,017,267	100.0
2022	784,024	21.4	2,356,119	64.3	347,639	9.5	118,572	3.2	55,999	1.5	3,662,353	100.0

(国土交通省「空港管理状況調査」)

(注) 積と卸の計。

空港別国際航空貨物取扱量の推移



特徴

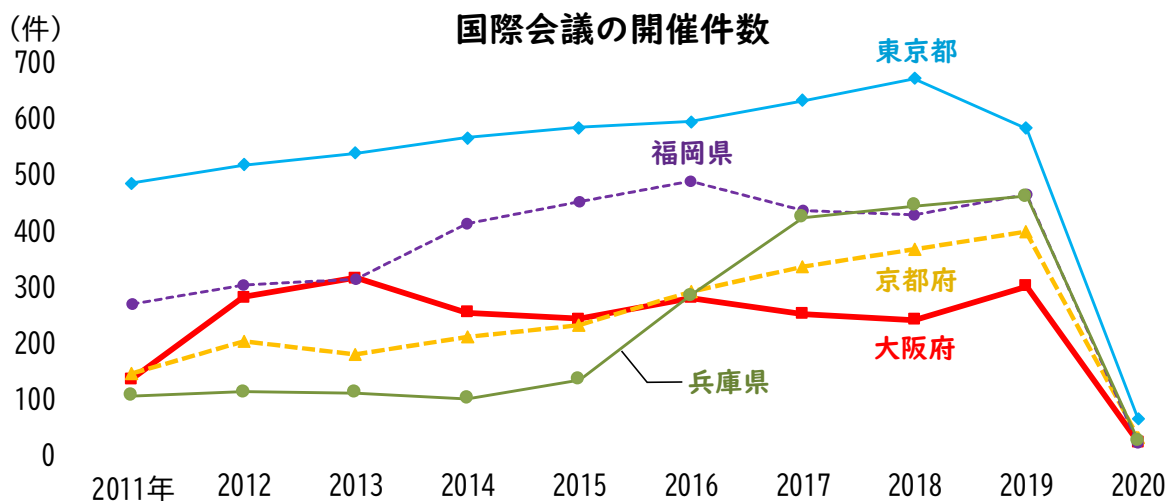
- ・ 大阪府における国際会議は新型コロナの影響を受け、2020年は23件と激減しました。
- ・ 全国における順位は、東京都、京都府、兵庫県に次ぐ第4位です。

(単位:件)

	2011年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
大阪府	135	281	314	253	242	280	251	240	300	23
大阪市	72	140	*172	*130	*139	180	*139	152	204	*9
千里地区	54	113	*113	*104	*94	85	98	68	84	13
堺市	3	11	13	8	*4	7	6	7	2	0
東京都	484	517	537	565	583	593	631	670	581	64
東京(23区)	470	500	*531	543	557	*574	608	*645	*561	63
神奈川県	174	196	234	208	193	189	179	163	282	9
横浜市	169	191	226	200	190	188	176	156	277	9
愛知県	125	144	154	179	187	207	192	216	259	11
名古屋市	*112	*126	*143	163	178	200	*183	*202	252	9
北海道	81	68	98	107	114	125	119	116	115	3
札幌市	73	*61	*89	*101	107	*115	*116	109	102	2
京都府	145	202	179	211	230	290	334	367	398	29
京都市	*137	196	176	*202	*218	*278	*306	348	*383	26
兵庫県	105	112	110	100	133	283	422	443	461	25
神戸市	83	92	93	*82	113	260	405	*419	438	*23
福岡県	268	301	312	411	450	488	436	427	464	21
福岡市	*221	252	*253	*336	*363	383	296	293	313	15
全 国	1,892	2,337	2,427	2,590	2,847	3,112	3,313	3,433	3,621	222

(日本政府観光局(JNTO) 国際会議統計)

- (注)1. 国際会議は、①主催者が「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体(各々の定義が明確ではないため「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く全てが対象)」、②参加者総数が50名以上、③参加国が日本を含む3カ国以上、④開催期間が1日以上、という4つの基準を全て満たす会議。
2. 東京は23特別区、大阪は大阪市、千里地区(豊中市・吹田市・茨木市・高槻市・箕面市)、堺市、その他の合計。
3. 1つの会議が複数の都市にまたがって開催された場合、それぞれの都市で1件として計上されるため、都市別開催件数は実際の会議開催件数よりも多くなる。
4. *印は、同じ都道府県内の複数都市で開催された国際会議が含まれることを示している。



特徴

- ・ 大阪府における在留外国人数は、2022年12月末に272,449人で全国の8.9%です。
- ・ 在留資格別では、「特別永住者」「永住者」「留学」「技術・人文知識・国際業務」の順に多くなっています。

(単位:人、%)

在留資格	大阪府		東京都		神奈川県		愛知県		全 国
	人数	シェア	人数	シェア	人数	シェア	人数	シェア	
総 数	272,449	8.9	596,148	19.4	245,790	8.0	286,604	9.3	3,075,213
教 授	489	6.7	1,878	25.6	349	4.8	412	5.6	7,343
芸 術	27	5.4	268	53.4	35	7.0	12	2.4	502
宗 教	300	7.6	983	24.8	212	5.3	266	6.7	3,964
報 道	2	1.0	181	86.2	8	3.8	0	0.0	210
高度専門職	923	5.0	9,865	53.9	2,221	12.1	572	3.1	18,315
経営・管理	4,076	12.8	10,143	31.9	2,167	6.8	1,226	3.9	31,808
法律・会計業務	3	2.0	132	87.4	4	2.6	2	1.3	151
医 療	378	15.3	588	23.8	302	12.2	54	2.2	2,467
研 究	43	3.3	334	25.4	141	10.7	21	1.6	1,314
教 育	737	5.5	2,147	16.0	934	7.0	369	2.8	13,413
技術・人文知識・国際業務	26,516	8.5	92,274	29.6	30,873	9.9	20,956	6.7	311,961
企業内転勤	899	6.9	3,582	27.5	1,824	14.0	818	6.3	13,011
介 護	1,205	19.2	707	11.3	302	4.8	289	4.6	6,284
興 行	154	7.0	409	18.5	217	9.8	100	4.5	2,214
技 能	2,183	5.5	12,330	31.0	4,030	10.1	2,622	6.6	39,775
特定技能	7,811	6.0	6,183	4.7	6,271	4.8	11,562	8.8	130,923
技能実習	17,247	5.3	11,479	3.5	13,080	4.0	30,529	9.4	324,940
文化活動	170	7.1	645	26.9	160	6.7	80	3.3	2,400
留 学	33,108	11.0	94,583	31.5	14,727	4.9	14,597	4.9	300,638
研 修	45	9.1	55	11.1	17	3.4	41	8.2	497
家族滞在	18,304	8.0	60,900	26.7	23,263	10.2	17,135	7.5	227,857
特定活動	4,533	5.4	17,482	21.0	5,624	6.7	5,655	6.8	83,380
永住者	58,576	6.8	172,218	19.9	90,463	10.5	95,805	11.1	863,936
日本人の配偶者等	8,995	6.2	27,050	18.7	13,097	9.0	13,777	9.5	144,993
永住者の配偶者等	2,780	5.9	8,294	17.6	5,068	10.8	6,385	13.6	46,999
定住者	9,242	4.5	21,755	10.5	14,522	7.0	40,333	19.5	206,938
特別永住者	73,703	25.5	39,683	13.7	15,879	5.5	22,986	8.0	288,980

(法務省「在留外国人統計」(旧登録外国人統計)統計表)

(注)数値は、2022年12月末。

